

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日 平成 27 年 4 月 1 日

Table with columns for '事務事業名', '区分', '事務事業No.', '課内No.', '政策体系', '予算科目', '法令根拠', and checkboxes for '単年度のみ', '単年度繰返し', '期間限定複数年度'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

Table with columns for '手段', '目的', '結果' and rows for '① 事務事業の概要', '② 担当者が行う業務の内容', '③ 対象', '④ 意図', '⑤ 結果', '⑥ 活動指標', '⑦ 対象指標', '⑧ 成果指標', '⑨ 上位成果指標'.

(2) 指標値の推移

Table with columns for '区分', '単位', and years '24年度', '25年度', '26年度', '27年度', '28年度', '29年度', '30年度'. Rows include '⑥活動指標', '⑦対象指標', '⑧成果指標', '⑨上位成果指標'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for '区分', '単位', and years '24年度', '25年度', '26年度', '27年度', '28年度', '29年度', '30年度'. Rows include '事業費' (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A)), '人件費' (正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B)), 'トータルコスト(A)+(B)', and '事業費の内訳'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for '27年度の事業内容', '28年度の事業内容', '29年度の事業内容', '30年度の事業内容'. Includes a note: '※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する' and a list of '分野別主要事業', '未来プロジェクト事業', '市長マニフェスト事業', '合併建設計画事業'.

事務事業名	就学時健康診断事業	事務事業No.	30132934	所属課	学校教育課
-------	-----------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

学校保健安全法第11条の規定により実施されている

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	幼児の心身の状態が把握でき、保健上必要な勧告・助言をおこなうことができる
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	学校保健安全法上により、市の教育委員会が行わなければならないと定められている
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	学校保健安全法第11条により定められているので、対象・意図は適切である。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	現状各学校毎に行っているが、今後児童数が減少していくことを踏まえ合同で行うことも考える必要がある
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	学校保健安全法に定められており廃止することはできない
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い	具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など))	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	知的発達検査手引書およびテスト用紙代などの事業費なので削減は難しい
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	システムも導入されており削減は難しい
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	成果指数100%で公平に行われている

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	10月～11月に各小学校において就学時健康診断を行った。児童減少に伴い、実施方法の検討として、複数校合同で実施することで効率化を図ってはどうかという意見も学校関係者から寄せられている。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(3)-1 改革改善策	コスト																
児童減少に伴い、公民館や小学校などで合同で健康診断を実施することで効率化を図る	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下			×
	削減	維持	増加														
向上		○															
維持			×														
低下			×														

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果
学校医への協力依頼はもちろんのこと、学校で行う場合持ち回りで行うことが想定できるため、そのためのルール作りが必要。 その他、関係各課(健康推進課など)への協力依頼も必要となってくる。	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>